

(第3種郵便物認可)

宍粟 千種高校（宍粟市千種町）スキー部3年の越此凛さん(18)と池部黄那さん(18)が、6日に岩手県で開幕する第71回全国高校スキー大会でクロスカントリー競技に出場する。県内の競技人口が少ないこともあり、2人は3年連続の全国大会出場。今回は元オリンピック選手の指導を仰ぎ、さらにスキー板も新調して意気込む。（村上晃宏）

千種高スキー部 越此さん、池部さん

クロスカントリー女子 3年連続出場



全国高校スキー大会のクロスカントリー競技に出場する越此凛さん(右)と池部黄那さん=千種高校

全国高校大会 ベストタイムを

全国高校体育連盟などが主催する全国大会は6～10日、岩手県八幡平市の田山クロス

カントリーコースなどで開かれる。2人は、スキー板を平行的に保ちながら前後に動かし滑走するクラシカル（5キ）と、自由な走法の「フリー」（同）に出場する。

越此さんと池部さんは夏に走り込みや筋力トレーニングのほか、ローラー付きスキー板で坂道を上るなど地道な練習を重ねてきた。競技の魅力を「レース中はつらいけど、ゴール後の達成感が精神力を強くしてくれる」と口をそろえる。

6日岩手で開幕 元五輪選手の指導受け練習

2人は昨年12月、県高校体育連盟の合宿に参加。2014年ソチ冬季五輪の男子40キロリレーに出場した成瀬野生さんから指導を受け、体の使い方や下りでスピードを緩めずにカーブを曲がる方法などを学んだ。全国への予選となる今年1月の県高校総体には2人しか出場がなく、そのまま県代表に決まったが、フリーではともに25分前後でゴールし、1年前から4分程度タイムを縮めた。

雪の状態の把握が重要な競技で、特にクラシカルは雪質に合った滑り止めワックスを選ぶことが鍵となる。高校生活最後となる大舞台に向け、越此さんは「県大会を超えるベストタイムを目指す」と力をこめ、池部さんも「弱い自分打ち勝つレースをする」と気合を入れている。

全国高校スキー 兵庫の11人出場

岩手で6日開幕

全国高校総体を兼ねた
全国高校スキー大会は6
日、岩手県八幡平市の安
代地区体育館で開会式が
行われ、7日から10日ま
で同市の安比高原スキー
場などで熱戦が繰り広げ
られる。兵庫県からは男
子の小山直哉（村岡）や
女子の池部黄那（千種）

ら11人がエントリーし
た。

今大会は新型コロナウ
イルス感染拡大を受け、
無観客で開催される。

（藤村有希子）

兵庫の選手は次の通
り。

【男子】小山直哉、吉門拳
臣、田淵瑠希（以上村岡）中
村篤、岡久立起、芳野陽（以
上報徳）今井優助（但馬農）
高見優志（啓明）

【女子】池部黄那、越此凜
（以上千種）明保能和（村岡）